

事業名	近畿自動車道 紀勢線 紀伊長島～紀勢大内山		事業区分	高速自動車国道	事業主体	中日本高速道路(株)
起終点	自)三重県北牟婁郡紀北町紀伊長島区東長島 至)三重県度会郡大紀町崎		延長	10 km		
事業概要 近畿自動車道紀勢線は紀伊半島沿線地域の産業・経済・文化観光等の発展及び振興に資する路線である。						
H10年度事業化		H8年度都市計画決定		H16年度用地着手		H18年度工事着手
全体事業費		486億円		事業進捗率		32% 供用済延長 0 km
計画交通量		8,000台/日				
費用対効果 分析結果	B/C	総費用		総便益		基準年 平成23年
	(事業全体) 2.1 (残事業) 4.1	(残事業)/(事業全体) 271/521億円 事業費：219/469億円 維持管理費：52/52億円		(残事業)/(事業全体) 1,108/1,108億円 走行時間短縮便益：778/778億円 走行費用減少便益：239/239億円 交通事故減少便益：90/90億円		
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施						
交通量変動 : B/C=4.5 (交通量 +10%) B/C=3.7 (交通量 -10%)						
事業費変動 : B/C=3.8 (事業費 +10%) B/C=4.4 (事業費 -10%)						
事業期間変動 : B/C=4.1 (事業期間 1年) B/C=3.9 (事業期間 +1年)						
事業の効果等 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる 緊急輸送道路 国道42号 が通行止めになった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる 他13項目に該当						
関係する地方公共団体等の意見 <三重県>近畿自動車道紀勢線紀伊長島～紀勢大内山について、平成25年の式年遷宮を契機とした広域的な交流・連携の促進を図り、紀伊半島の「新たな命の道」となるため事業を継続し早期完成をお願いします。						
事業評価監視委員会の意見 対応方針（原案）のとおり了承。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・H18年の開通以降、交通量は年々増加しており、延伸部の早期整備に益々期待が高まっています。 ・東海地震・南海地震・南海地震などの発生が切迫しているなか、防災の観点から早期整備の必要性が益々高まっています。						
事業の進捗状況、残事業の内容等 工事実施中						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 今後も引き続き工事の進捗を図る予定。						
施設の構造や工法の変更等 新技術・新工法や現地の状況変化も確認しながら積極的にコスト削減を図っていく。						
対応方針 事業継続						
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。						
事業概要図 						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。